



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 628 号

平成28年 2 月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 大 橋 邦 啓

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

平成28年公益社団法人埼玉県獣医師会新春
懇談会・高橋三男会長埼玉文化賞受賞
報告会の開催……………1
高橋三男埼玉県獣医師会会長
埼玉県医師会新年会に招かれる……………18
平成27年度集合狂犬病予防注射実施者
講習会を開催……………19
本県における豚流行性下痢 (PED) の
発生について……………23

会務報告

第3回 狂犬病予防委員会……………24

予告

西支部学術講習会のお知らせ……………24
さいたま市支部学術講習会のお知らせ……………25
南第一支部・第二支部合同学術講習会
開催のお知らせ……………25

ひろば

(公社)埼玉県獣医師会主催

ボウリング大会の開催……………26
上尾市長選挙で、現職の島村みのる氏を
推薦……………28
平成27年度東支部新年会開催報告……………28
西支部学術講習会開催報告……………29
北支部研修会及び新年会開催報告……………29

切り抜きニュース

○農業高校 羽ばたく女子
ー動物飼育や園芸・料理の教育充実ー……………30
○動物に頼らない服作り
ーブランドも保護へ取り組みー……………30
○ジカ熱 緊急事態宣言
ーWHO「世界の脅威」ー……………31

埼玉県獣医師会学術広報版……………33

事務局より

事務局メモ……………34

編集後記……………35

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

平成28年公益社団法人埼玉県獣医師会新春懇談会・ 高橋三男会長埼玉文化賞受賞報告会の開催

平成28年1月22日(金)午後3時30分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」を会場にして公益社団法人埼玉県獣医師会新春懇談会並びに高橋三男会長埼玉文化賞受賞報告会が盛大に開催されました。

この会は、平成28年の新春を迎えるにあたり、平素よりご指導ご鞭撻いただいております関係者の皆様方への御礼と新春を祝すとともに、昨年(平成27年)の11月に高橋三男会長が受賞した埼玉文化賞の受賞を報告するために開催したものです。



平成27年11月12日に行われた埼玉文化賞授賞式にて
(左から高橋三男会長、美恵子夫人、梶田隆章先生、小川秀樹社長)

このたびの開催には、関係する方々に、公益社団法人としての本会の活動への理解を深めていただこうと多くの御来賓をお招きしたところ、御来賓と会員を合わせて420名もの皆様の参加をいただき、全員着座の中、林繁雄理事の司会により進行されました。

なお、当日は開会までの間、高橋三男会長の埼玉文化賞の受賞風景を始め、これまで御活躍された埼玉県獣医師会、さいたま商工会議所等の経済界、地元岩槻の活動など、幅広い足跡をスライドにして、2つの大きなスクリーンで御紹介しました。

1 会長挨拶

中村滋副会長が開会の辞を述べた後、高橋三男会長が挨拶に立ち、次のとおり挨拶しました。

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。本日は、公益社団法人埼玉県獣医師会の新春懇談会を御案内申し上げましたところ、上田清司埼玉県知事様をはじめ、さいたま市長の清水勇人様、埼玉県市長会長 久喜市長の田中暄二様、日本獣医師会の藏内勇夫会長様、北村直人顧問、酒井健夫副会長、境政人専務理事、古賀俊伸事務局長の皆様、さらには関東近県の獣医師会会長様にも御出席を賜り、埼玉県獣医師会といたしましては、この上ない喜びであります。



懇談会の開会にあたって挨拶する高橋三男会長(右は美恵子夫人)

また、本日は国会議員、埼玉県議会議員、さいたま市議会議員の皆様にも御案内しましたところ、埼玉県議会の岩崎宏副議長様、さいたま市議会の小森谷優副議長様を中心とする議員の皆様方に多数御臨席いただきました。本当にありがとうございます。

また、昨年(2016年)の11月12日には、埼玉新聞社が制定し、埼玉県知事をはじめ、各界、各層の委員さんから選考いただきまして、不肖、私が、農林部門におきまして、埼玉文化賞という名誉と意義ある賞を受賞させていただきました。この、おめでたい表彰式には、ノーベル賞を受賞されました埼玉生まれ、埼玉育ちの梶田隆章先生と一緒に出席し、梶田先生は特別賞を受賞されました。58回という長きにわたったこの文化賞の授賞式では、緊張するとともに、賞の重みというものをしっかりと受けとめてきたところでございます。

この賞は、もとより私一人が受けたのではなく、私を支えていただきました埼玉県獣医師会、日本獣医師会、そして、我が故郷、岩槻を中心としたさいたま市、そして、各界、各層の本日、おいでの皆様方の御指導と御支援の賜物でありまして、改めまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

御礼の御挨拶の時間も少ないと思ひまして、皆様方のお手元の冊子には「御礼の言葉」を載せさせていただきました。御一読いただければ、大変ありがたいと思います。

これからも、地域のため、業界のために、与えられた仕事をしっかりと行い、少しでも皆様方のお役にたつような人生を送っていきたいと思っています。どうか、皆様方の変わらぬ今後の御支援、御協力を心からお願い申し上げまして、御礼の言葉に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

2 受賞経過報告

高橋三男会長が埼玉文化賞を受賞した経過を(株)埼玉新聞社代表取締役社長の小川秀樹様から報告していただきました。

皆様、今日は、埼玉新聞社の小川秀樹でございます。ただ今は、埼玉県獣医師会の新春懇談会ということで会場入りしましたが、通常の新年会と違う顔ぶれになっておりまして、さすが、高橋三男会長の人脈の広さだなと思っております。やはり、これだけの人脈を持っていることが、今回の受賞につながったと思っています。私どもも、この賞をやらせていただいて、何回かこういう披露宴に呼ばれたことがありますが、ここは空前絶後の規模でございます。これほどの高い評価をしていただき、大変うれしく思いますし、これからもこの埼玉文化賞を大事に、大事に、育てていきたいと思っています。

埼玉文化賞は昭和33年から埼玉新聞社が制定してやっていますが、賞の審査員は3人いまして、1人は埼玉県知事、1人は埼玉県議会議長、そして埼玉新聞社社長、この3人が最高の責任者として、それぞれの年に合った人物で、埼玉県を元気にしてくれた方を選んで表彰している賞であります。

部門でいいますと、芸術、教育、社会文化、農林、商工、スポーツというジャンルに分かれておりまして、高橋三男会長が今回受賞されました農林を始め、芸術、商工、スポーツの四つが最初からある部門であります。過去にどういう方が受賞されたか名前をあげますと賞の格が解るかと思いますが、最近の著名人ですと、第34回にアメリカのアカデミー賞を受賞された宮崎駿監督、最近では彩の国芸術劇場の総監督であります蜷川幸雄先生、そして、第55回には、天皇陛下の心臓手術をされた天野篤先生、そして今年は特別賞ということで、ノーベル賞の梶田隆章先生という方々が受賞された賞になっております。

これまで、私どもも、埼玉文化賞は蜷川先生が文化勲章でしたので、埼玉県の文化勲章といていたのですが、今年から埼玉県のノーベル賞と肩書を変えたいと思っています。

農林部門は、過去に、表彰された方で、主な方をあげますと、武正総一郎様、出井治人様、三ツ林弥太郎様など、埼玉県の農業界を支えてきた方が多くなっています。そして、埼玉県獣医師会からは五十嵐幸男元日本獣医師会会長 前埼玉県獣医師会会長が受賞されておりますが、農林部門は非常に領域が広いものですから、獣医師会の部門で受賞される方は非常に珍しくなっております。その中で、高橋三男会長が選ばれたというのは、やはり、動物と人間の関わりという点で、新しいテーマを我々に示してくれたというところが高く評価されたのではないかとと思っています。動物と人間の新しい関係というのを、埼玉県獣医師会の皆さんが、少しずつ、しっかりとしたものを作っていかれる訳ですけれども、この賞を、是非、会のものとして、大事に、大事にさせていただいて、さらに、さらに県民と動物の絆が深まることを御祈念いたしまして、私からの説明に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



受賞経過を報告される小川秀樹埼玉新聞社社長

3 記念品・花束の贈呈

埼玉県獣医師会の次の皆様方から高橋三男会長と美恵子夫人に記念品と花束が贈呈されました。

(1) 記念品

- ① 役員を代表して中村滋副会長
- ② 開業の先生方を代表して、さいたま市支部の池嶋佳代子先生

(2) 花束

- ① 開業の先生方を代表して、さいたま市支部の浅沼芽薫美先生、また、奥様の美恵子夫人に、さいたま市支部（株COWOX代表）の川上太朗先生
- ② 埼玉県畜産団体を代表して農林支部の梅野杏奴先生
- ③ 公衆衛生を代表して埼玉県狂犬病予防協会を担当する衛生支部の大町美穂先生
- ④ 高橋家のお孫さん



埼玉文化賞を受賞された高橋三男会長御夫妻に花束を贈呈した浅沼芽薫美先生(さいたま市支部) (左から2人目)、川上太朗先生(さいたま市支部 株COWOX代表) (左)

4 来賓の御祝辞(1)

御出席を頂いた多くの御来賓の中から、次の方々に御祝辞を頂きました。

《埼玉県知事 上田清司様の御祝辞》

本日は、藏内勇夫日本獣医師会長、清水勇人さいたま市長、岩崎宏埼玉県議会副議長をお迎えして、公益社団法人埼玉県獣医師会の新春懇談会、そして、我らが敬愛します高橋三男会長の埼玉文化賞受賞報告会が開催されますことをお喜び申し上げます。高橋三男会長のことから、獣医師会の会合にも来てもらって、また、自分の報告会にも来てもらってということでは申し訳ないということで、二つの会を御一緒になさったのではないかと、いつもながらの気配りに心から感謝するところがあります。高橋三男会長、このたびは、誠におめでとうございます。高橋



御祝辞を頂いた埼玉県知事
上田清司様

三男会長は、さいたま商工会議所連合会の副会頭として、また、埼玉県青色申告会の会長として税務行政の一端をも担っていただいていることなど、数え上げればきりがなく、いろいろな形で地域貢献をされておられますし、また、重要な役割を担っておられ、我らのリーダーでございます。

高橋三男会長がいろいろな形で多くの方々を支えておられ、面倒をみておられますので、お客様があふれて会場に入りきれない状況になっている。後ろの入口の方までテーブルがはみ出ており、大変申し訳ないような形になってしまっている。これもまた、高橋三男会長の力のなせる業と、心から感謝と敬意を表するところでございます。

私は、これまで埼玉県獣医師会のことをいろいろと詳しく聞いておりました。かつては、東京の牛乳などは、ほとんど埼玉県で供給していたとか、埼玉は日本で三番、四番に牛あるいは豚を飼育していたので獣医師の数が最も多かったと。しかし、家畜はどんどん外の方に追いやられていったのですが、逆にペットとしての犬猫を中心とする形で都市に集まってきて、獣医師の需要が増えているということで、衰えたことのない産業だということをお聞きしたこともございます。そういう意味で、埼玉県獣医師会というのは、日本で

も有数の勢力を誇っており、高橋三男会長には、これからも、埼玉県のみならず、日本全体の獣医療のリーダーとして、重要な役割を果たしていただきたいということを、心からお願い申し上げまして、お祝いの言葉に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

《埼玉県議会副議長 岩崎宏様の御祝辞》

埼玉県議会副議長の岩崎 宏でございます。公益社団法人埼玉県獣医師会の平成28年新春懇談会並びに高橋三男会長の埼玉文化賞受賞報告会の開催にあたり、県議会を代表いたしまして、一言、お祝いの言葉を申し上げます。御参会の皆様には、日ごろ、動物愛護の普及・啓発や、自然環境の保全、人と動物の共通感染症対策などの活動を通じ、県民生活の向上に、多大なる御尽力を頂いており、厚く御礼申し上げます。

また、高橋会長におかれましては、この度、栄えある埼玉文化賞の受賞、誠にありがとうございます。

皆様、御承知のとおり、高橋会長は、長年、獣医師として御活躍されるとともに、昭和62年に埼玉県獣医師会の副会長に、そして、平成11年に会長に就任されました。

さらに、平成25年には、全国獣医師会会長会議 常設議長にも就任され、県内のみならず、全国へと活躍の場を広げておられます。

この度の受賞は、高橋会長の優れた識見と高い志により、長年にわたり、獣医療の発展に多大なる貢献をされておられることが、高く評価されたものと存じます。

さて、獣医療の役割は、動物の健康管理や飼育相談のみならず、近年では、鳥インフルエンザ等の人体に深刻な影響を及ぼす感染症への対応や、畜産動物の検査・確認による食品の安全確保など、様々な分野へと広がりつつあります。このように、獣医療は、県民の皆様の暮らしを守るうえで、様々な役割を担っており、獣医師の皆様に対する期待は、今後ますます、高まってくるものと存じます。

本日は、獣医師の皆様が大勢おられますので、動物にちなんだお話をご紹介します。

私の地元、秩父地域にある秩父神社には、「お元気三猿」と呼ばれる彫刻があります。

日光東照宮の「見る・聞かざる・言わざる」とは対照的に、この、お元気三猿には、「よく見て・よく聞いて・よく話そう」という、積極的な意味が込められております。我々県議会といたしましても、人と動物を取り巻く環境をよく見て、獣医師会並びに県民の皆様の御意見をよく聞き、議会における十分な議論を踏まえ、人と動物が共生できる、豊かな社会の実現に向けて、今後も、積極的に取り組んでまいり所存です。

どうか、埼玉県獣医師会の皆様におかれましても、本県獣医療の発展に、より一層の御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人埼玉県獣医師会のますますの御発展と、高橋会長をはじめ、御参会の皆様の御健勝と、今後のさらなる御活躍を祈念申し上げます。私のお祝いの言葉といたします。本日は大変おめでとうございます。

《福岡県議会議員元議長 日本獣医師会会長 藏内勇夫様の御祝辞》

日本獣医師会の藏内勇夫でございます。新年あけましておめでとうございます。平成28年の年頭にあたりまして、公益社団法人埼玉県獣医師



御祝辞を頂いた
埼玉県議会副議長 岩崎宏様



御祝辞を頂いた福岡県議会議員元議長
日本獣医師会会長 藏内勇夫様

会の高橋三男会長を始め、関係者の皆様に謹んで新春のお喜びを申し上げます。同時に、このたび、埼玉新聞社制定の埼玉文化賞の受賞、誠にありがとうございます。

これは、長年、高橋三男会長を支えていただいた奥様を始め、高橋家の名誉であることはもちろんでございますが、公益社団法人埼玉県獣医師会、いや我が日本獣医師会の大変な名誉であると心から喜んでいるところであります。小川社長さんのお話を聞きましても大変価値のある賞だと思いました。毎月、埼玉県獣医師会から機関誌を送っていただいておりますが、このことが一面に載っていました。その写真を見まして、高橋三男会長がドンと中心に座っておられました。一番功績があったからということで、喜んで拝見いたしました。

今日は高橋三男会長、決まっていますね。この賞が埼玉のノーベル賞になるそうですから、是非、今度埼玉ベストドレッサー賞を作っていただいて、私が推薦人にならせていただきます。

本日は、日本獣医師会から政治連盟委員長であり日本獣医師会顧問である北村直人さんをはじめ、酒井副会長、村中副会長、境専務、また、地方会の重鎮の会長さんたちがたくさん出席をさせていただいており、今ここで、日本獣医師会の執行役員会を開いても、全て原案が通るくらいの勢力であります。これは高橋三男会長に敬意を表するために我々集まったところであります。

御承知のように、今、上田知事から詳しく我々の抱えている課題等も含めて、お話をさせていただきました。上田知事には全国知事会でも大変、獣医師会のことを理解していただき、御支援もいただきました。

また、岩崎宏埼玉県議会副議長がおいでになりますが、公務員獣医師の処遇では、全国議長会で採択をいただき、本当に埼玉県では、我々日本獣医師会は心から感謝をいたしているところであります。

御承知のように、我々獣医師というのは、小動物のみならず、産業動物、実験動物、野生動物、いわゆる動物の健康を守って人の健康を支える、食の安全を守る、環境をしっかりと整備する、そういった役割を担っていますが、高橋会長はその全ての分野において第一人者であります。

そして、日本獣医師会が行ういろいろなイベントがありますが、年に1回、動物感謝デーといって、駒沢オリンピック公園で開催し、3万人くらいの方に参加いただいておりますが、高橋会長には、この企画検討委員会の委員長を務めていただいております。それから、獣医師賠償責任保険制度の中央審議会の委員長もされており、これもきちんと取りまとめていただいております。

私は昨年、二期目の会長を拝命いただきましたが、一期目の就任の時に、高橋会長に、「これからの日本獣医師会は、地方会とともに共通の問題意識を持ってやっていきたい、対話を重ね、同じ方向に向いて問題を解決していきたい、そのためには、県と政令指定都市で構成する55の地方会をまとめていかなければならない。それは、我々執行部がやる仕事ではなく、地方会自らが立ち上がってやっていただきたい。そのためには、全国会長会の中に常設議長を作ったので、その初代の常設議長に高橋会長に就任いただきたい。」とお願いし、見事にこの2年間まとめていただきました。

私は、また再選して、最初に、高橋会長に、この議長を続けてほしいと要請し、引き受けていただきました。本当に、高橋会長は日本獣医師会にとってかけがえのない人物でございます。

今回のこの受賞を契機に、さらに高橋御夫妻がお元気で、埼玉県のみならず、日本獣医師会のために、御活躍いただきたいと願う次第であります。また、会長は全国4万人弱の獣医師の中で、唯一、商工会議所の副会頭、しかも、埼玉というのは大都会で、その中で就任されている。今日は埼玉県医師会の金井会長もみえていますが、その医師会と学術協定を結びまして、共通感染症の予防にも力を入れていただいている。同時に、我々も医師会みたいに処遇改善やレベルアップを果たしていかなければならない。そのためには、獣医師が高度の専門職業人だけではなくて、幅広く社会参加する人間でなければならないということです。

高橋会長は、まさしく、それを実践していただいているということでもあります。

2013年には、私どもの日本獣医師会と日本医師会とで学術協定を結びました。世界医師会と世界獣医師会がこれを高く評価してくれるとともに、初めて、ヨーロッパで昨年、世界医師会、世界獣医師会の合同国際会議を開いてくれました。私と横倉日本医師会会長がそこで講演をさせていただきました。今年、日本でどうだという話がありましたので、医師会と協議して日本に誘致することにし、11月に福岡県で開催することとしました。

そこで、高橋会長にお願いしたいことがあります。この世界国際会議に我が国の最大イベントである動物感謝デーをぶつけていきたい。これには、高橋委員長が「うん」と言わないとできませんが、あの顔を見ると「うん分かった」と言っているように思っています。これで、万全を期して、人の健康を守るための国際会議も成功させていきたいと思っています。

結びになりますが、高橋会長御夫妻の今後のますますの御健康と皆様方の御健勝を重ねて祈念申し上げまして、お祝いとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

《埼玉県医師会会長 金井忠男様の御祝辞》

埼玉県医師会会長の金井忠男でございます。

日本医師会の横倉会長と日本獣医師会の藏内会長が親しくお話をさせていただいているのを、横倉会長からもよく伺っておりますし、先日の福岡県での会合も盛大に行われたと、これも横倉会長から聞いていますところでもあります。

その獣医師会の新春懇談会にお招きをいただいて、御挨拶をさせていただいております。なぜ、私が毎年来させていただいているかということでございますけれども、我々医師会よりも圧倒的に力強いのがこの獣医師会でございます。我々は、これを見習うために出席させていただいております。埼玉県獣医師会さんには、いろいろなところで御支援をいただいておりますし、いろいろな所で意見交換をさせていただいております。また、藏内会長からもお話がございましたとおり、埼玉県獣医師会と埼玉県医師会との間で協定を結ばさせていただいております。

高橋三男会長とはいろいろなお話をさせていただいて必ず元気づいて帰ってくるということがありますので、落ち込んだ時には、高橋会長のところにお伺いするようにしています。

また、埼玉文化賞受賞のお祝い会も兼ねているということで、先ほど、埼玉新聞の小川社長からお話を伺ったとおり、当然ということを感じたところでございます。また、埼玉県医師会と埼玉県獣医師会との連携というお話もしていただきましたけれども、これも更に進めていきたいと考えているところでございます。

上田知事のお話のとおり、これだけ溢れんばかりで、これほどの方々がお集まりになっていることに、本当に感心しているところです。本日は、特別、高橋三男会長の祝賀会ということもあり、盛会に行われたことを心からお祝いを申し上げます。今年もまた、いろいろとお世話になることがあるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。

また、高橋三男会長、本当にありがとうございます。心からお祝いを申し上げ、挨拶とさせていただきます。おめでとうございます。



御祝辞を頂いた埼玉県医師会
会長 金井忠男様

《埼玉県商工会議所連合会会長 さいたま商工会議所会頭 佐伯鋼兵様の御祝辞》

さいたま商工会議所会頭の佐伯鋼兵と申します。今日は、埼玉県獣医師会新春懇談会、高橋三男会長埼玉文化賞受賞報告会誠にありがとうございます。先ほど、小川社長から紹介がありましたが、埼玉文化賞は、埼玉県知事さんと埼玉県議会議長さん、小川社長さんの推薦がないとももらえないということで、まさしく埼玉県のノーベル賞かと思います。本当に、重ね重ねお祝い申し上げます。

高橋三男会長は、各界での御活躍はもちろんですが、商工会でも、岩槻商工時代から数えますと、37年にわたって役員を務めていただいております。さいたま商工会議所では高橋会長は総務委員長でしたが、委員会の大改革をされた記憶もございます。去年は、岩槻祭りで鷹狩りが開催されまして、全国から鷹と鷹匠が集まって、その演技を見させていただきました。高橋三男会長の目を見ていますと、その鷹の目に似ておられます。鷹の目は人間の何百倍の視力があるそうです。犬は何百倍ものにおいを嗅ぐことができるそうですが、高橋三男会長の目で見られると、誰もいやといえる人はいないと思います。

獣医療の中で、いろいろなことを活かしながら活躍されている高橋三男会長には、心から敬意を表しますが、奥様、御家族、獣医師会の皆様の支えがあつての今回の賞だと思います。これからも、この賞をもとに、各方面で御活躍いただきますことを、心から祈念申し上げまして、お祝いの御挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。



御祝辞を頂いた埼玉県商工会議所連合会会長 佐伯鋼兵様

5 くす玉割り

舞台の両脇に二つのくす玉を用意し、一つのくす玉には新しい年を迎えたことで「平成28年 賀正 埼玉県獣医師会」とし、もう一つのくす玉には、この度の高橋三男会長の埼玉文化賞を祝して「祝 高橋三男会長 埼玉文化賞受賞」といたしました。

舞台に向かって左側のくす玉には、さいたま市経済局長の岡安博文様を始め、埼玉県畜産会会長 坂本健次様、埼玉県信用保証協会会長 後閑 博様、さいたま商工会議所名誉会頭 関根忠一様、さいたま商工会議所副会頭 小川逸郎様、さいたま商工会議所副会頭 安藤嘉明様、日本獣医師会副会長 村中志朗様、日本獣医師会副会長 酒井健夫様、日本獣医師会専務理事 境 政人様、日本小動物獣医師会会長 山本精治様、埼玉県農林部長 河村仁様、埼玉新聞社名誉顧問 丸山 晃様の12名の方々。

右側のくす玉には、横浜市獣医師会会長の井上亮一様を始め、川崎市獣医師会会長 竹原秀行様、千葉県獣医師会会長 山根 晃様、栃木県獣医師会副会長 大住 敬様、群馬県獣医師会会長 木村芳之様、神奈川県獣医師会会長 鳥海 弘様、埼玉りそな銀行さいたま営業部営業第二部長 菊地耕太郎様、武蔵野銀行専務取締役 町田秀夫様、埼玉縣信用金庫専務理事 竹田順正様、春日部商工会議所会頭 尾堤英雄様、埼玉県法人会連合会会長 利根忠博様、さいたま市水道事業管理者 日野 徹様、さいたま市岩槻区役所区長



くす玉を割られる皆様



くす玉を割られる皆様

中井達雄様の13名の方々に御登場いただきまして、「おめでとうございます」のかけ声で、くす玉を一齐に割っていただきました。

6 鏡割り

くす玉割りに引き続いて、舞台の左右に、明治4年、地元岩槻で日本酒の蔵元・酒蔵として創業した鈴木酒造が全国新酒鑑評会で連続して金賞を受賞している「万両」の酒樽二つを用意しました。

左側の樽には、高橋三男埼玉県獣医師会会長を始め、高橋美恵子夫人、埼玉県知事 上田清司様、さいたま市長 清水勇人様、日本獣医師会会長 藏内勇夫様、さいたま市議会副議長 小森谷優様、埼玉県議会副議長 岩崎 宏様、埼玉県市長会会長 田中暄二様、埼玉県町村会会長 吉田 昇様、桶川市長 小野克典様の10名の方々。

右側の酒樽には、日本獣医師会顧問の北村直人様を始め、埼玉県議会 自由民主党幹事長 小島信昭様、埼玉新聞社社長 小川秀樹様、埼玉県町村会副会長 花輪利一郎様、白岡市長 小島 卓様、さいたま市副市長 木下達則様、日本大学校友会埼玉県支部支部長 田村榮一様、さいたま市教育長 稲葉康久様、さいたま観光国際協会会長 清水志摩子様の9名の方々に、それぞれ、はんてんを着衣して、木槌を持って御登壇いただき「よいしょ、よいしょ、よいしょ」の大きな掛け声で樽を一齐に割っていただきました。



酒樽を割られる皆様(左から4人目、上田清司埼玉県知事)



酒樽を割られる皆様

7 乾杯

鏡割りを行った直後には、地元ということで祝辞と乾杯をさいたま市長の清水勇人様にお願いいたしました。清水市長は「皆様、明けましておめでとうございます。本日は公益社団法人埼玉県獣医師会の新春懇談会並びに高橋三男会長の埼玉文化賞の受賞報告会ということで、こうして沢山の皆さんにお越しをいただきました。特に、今回は高橋三男会長の埼玉文化賞の受賞ということで、埼玉県獣医師プラス商工会議所関係の皆様、日本大学校友会の皆様、あるいは、地元、岩槻の関係者の皆様を始め、沢山の皆様にお越しいただいているところであります。私たちが敬愛します高橋三男会長が埼玉文化賞という大変すばらしい賞を受賞されたことを、私たちも嬉しく、また誇りに思っているところであります。私、一つだけ驚いたことがあります。その受賞の記事が出ておりますHPを見ましたら、高橋三男会長79歳と書いてありました。私、会長は69歳位とっていましたので、本当にお若いなあと思った次第であります。先ほども、日本獣医師会会長からベストドレッサー賞というお話もありましたが、今日はタキシード姿で、元気一杯の御挨拶もしていただきました。これから、埼玉県獣医師会が更に発展されますようにと、そして高橋三男会長が更にお元気で、これからも埼玉県獣医師会を始め、様々な分野でますます御活躍されることを祈念いたしまして、声高らかに乾杯したいと思います。」と祝辞を述べられ、引き続いて「それでは今年一年が素晴らしい年になりますように、そして高橋三男会長の更なる御活躍を祈念致しまして乾杯します。」と声高らかに発声されて乾杯し、賑やかに懇談が進められました。



さいたま市長 清水勇人様の音頭による乾杯

8 来賓の紹介

《国会議員の皆様への紹介》

御出席の国会議員の先生方にそれぞれ自己紹介と御挨拶をお願いしました。

御出席された国会議員の先生方（選挙区順）

衆議院議員 村井 英樹様（埼玉第1区）	衆議院議員 田中 良生様（埼玉第15区 代理）
衆議院議員 新藤 義孝様（埼玉第2区 代理）	衆議院議員 武正 公一様（比例区）
衆議院議員 黄川田仁志様（埼玉第3区 代理）	衆議院議員 牧原 秀樹様（比例区 代理）
衆議院議員 豊田真由子様（埼玉第4区 代理）	衆議院議員 中根 一幸様（比例区 代理）
衆議院議員 枝野 幸男様（埼玉第5区 代理）	衆議院議員 小宮山泰子様（比例区）
衆議院議員 大島 敦様（埼玉第6区）	衆議院議員 今野 智博様（比例区 代理）
衆議院議員 神山 佐市様（埼玉第7区）	衆議院議員 鈴木 義弘様（比例区）
衆議院議員 柴山 昌彦様（埼玉第8区）	衆議院議員 輿水 恵一様（比例区 代理）
衆議院議員 山口 泰明様（埼玉第10区）	参議院議員 大野 元裕様（代理）
衆議院議員 野中 厚様（埼玉第12区 代理）	参議院議員 関口 昌一様（代理）
衆議院議員 土屋 品子様（埼玉第13区 代理）	参議院議員 西田 実仁様（代理）
衆議院議員 三ッ林裕巳様（埼玉第14区）	参議院議員 古川 俊治様（代理）
	合計 24名

《国会議員の御祝辞》

御出席の国会議員の先生方には、御登壇の順番で御祝辞をいただきました。

衆議院議員 大島 敦様

高橋三男会長、この度の受賞、本当におめでとうございます。私が当選した時には、既に埼玉県獣医師会の会長でした。1999年からずっと埼玉県獣医師会のために、一生懸命に取り組まれまして、今回、埼玉文化賞を受賞されました。本当におめでとうございます。私たち若輩者に対しまして御指導よろしく願いいたします。おめでとうございます。



衆議院議員 大島 敦様

衆議院議員 武正公一様

埼玉県獣医師会の先生方には、動物を通じて、県民の皆様、地域の皆様の癒しや憩いに御尽力いただくことになろうかと思います。また、高橋三男先生には、これまでも埼玉県獣医師会の会長として御尽力をいた



衆議院議員 武正公一様

だき、今回は、この埼玉文化賞の受賞ということで、心からお祝い申し上げます。特に、地方自治、あるいは町づくりへの貢献といったことを含めると、さいたま商工会議所の副会頭として、また、岩槻にあっては、地下鉄の延伸を始めとするリーダーシップもとり続けていただいております。そうしたことも併せまして、更に高橋三男会長が今回の受賞を期に、また御尽力いただけることを心から御期待申し上げ、そして奥様ともども、何よりも御健康でお過ごしいただくことを祈念申し上げ、御挨拶いたします。おめでとうございます。

内閣総理大臣補佐官 衆議院議員 柴山昌彦様

日頃から、公私にわたって大変お世話になっております。高橋三男埼玉県獣医師会会長の埼玉文化賞受賞、本当におめでとうございます。国会議員の同僚の皆様からお話をいただいたとおり、これもひとえに、高橋三男会長の健康に携わる本来の御活動もありますけれども、それに加えて、商工会議所、私に関しては、税制の青色申告会の方でも御指導をいただいておりますけれども、様々なことが、今回の御受賞につながったと確信をいたしております。今日お集まりの皆様の祝意が、この高橋三男会長の御人徳として、そして御活動の尊さを物語っていると思います。

我々もしっかりと、これからも高橋三男会長、そしてお集まりの皆様と意を一新にして、地域発展のため頑張ってまいりたいと思っております。御参会の皆様と高橋三男会長、奥様を始めとする御一家のますますの御発展を祈念申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。本当におめでとうございます。



内閣総理大臣補佐官 衆議院議員
柴山昌彦様

外務大臣政務官 衆議院議員 黄川田仁志様

皆様、新年あけましておめでとうございます。高橋三男会長を始め、埼玉県獣医師会の皆様には、日頃から大変お世話になっておまして、誠にありがとうございます。今、私、外務大臣政務官を拝命いたしておりますが、先日、アフリカに行った時に、エボラ出血熱がコウモリの持っているウイルスから由来してくるのではないかとわれており、人と動物の間を行ったり来たりするウイルスの存在が脅威となっています。このため、医師会のお医者さんには、人間のことでなく、動物のことをよく知った方が必要となってくる訳です。埼玉県獣医師会の皆様の更なる研究に期待しているところであります。

結びにあたりまして、埼玉県獣医師会のますますの御発展と、高橋三男会長を始め、会員皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 黄川田仁志様

衆議院議員 神山佐市様

新年あけましておめでとうございます。また、埼玉県獣医師会の新年会と高橋三男会長の埼玉文化賞受賞、大変おめでとうございます。私は日本の経済が成長していきますよう、しっかりと取り組んでまいります。そして、埼玉県獣医師会の先生方には、ペットの愛護に対して、十分に



衆議院議員 神山佐市様

御活躍いただきますようお願い申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

衆議院議員 鈴木義弘様

皆様、新年明けましておめでとうございます。また、高橋三男会長の受賞おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

衆議院議員 小宮山泰子様

埼玉県獣医師会の皆様、明けましておめでとうございます。また、高橋三男会長にはいつもお世話になっております。私は超党派の動物愛護議論に役員として入らせていただいております。この分野でも頑張っていきたいと思っています。しっかりと人間と動物が共生するそんな心優しい国、日本を、一緒に目指してまいりたいと思います。本年、埼玉県獣医師会の皆様の更なる発展を心から祈念いたしまして、お祝いの御挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。



(左) 衆議院議員 鈴木義弘様
(右) 衆議院議員 小宮山泰子様

衆議院議員 村井英樹様

皆様、明けましておめでとうございます。そして、埼玉県獣医師会の新年会と高橋三男会長の埼玉文化賞の受賞報告会ということで、本当におめでとうございます。埼玉文化賞の受賞は、元々は、埼玉県獣医師会会長としての御活躍が認められての受賞と思いますが、高橋三男会長は、私の地元の岩槻の中心的存在で、地域の活性化にも貢献されていて、岩槻の三大祭の全ての実行委員長をやっていたなど、岩槻や埼玉には、なくてはならない方でございます。会長が御多忙で御不在が多いので、奥様も御苦労されたのではないかと思いますけれども、そんな高橋三男会長と奥様に、これからも引き続いて、地域のため、埼玉県獣医師会の皆様方のために御活躍いただきますようお願い申し上げまして、御挨拶に代えさせていただきます。本日は、ありがとうございます。



衆議院議員 村井英樹様

厚生労働大臣政務官 衆議院議員 三ツ林裕巳様

皆様、明けましておめでとうございます。埼玉県獣医師会の新年の祝賀会と高橋三男会長の埼玉文化賞の受賞をお喜び申し上げます。私は高橋三男会長から議員になる前から御指導をいただいております。私は春日部高校出身であるとともに日本大学の先輩でもございます。そして、選挙区は違いますが、私は埼玉の東側、春日部を中心とする地域であります。岩槻に必ず伺いまして、身の処し方などを教わってまいりました。高橋三男会長が埼玉県獣医師会を一つにまとめ上げられ、そして会員の皆様が動物の共生、そして、地域のために御尽力いただいていることを心から敬意と感謝を申し上げます。皆様とともに、この埼玉県獣医師会の御発展を心から祈念申し上げます。お祝いの御挨拶といたします。おめでとうございます。



厚生労働政務官 衆議院議員
三ツ林裕巳様

《埼玉県議会議員の皆様のご紹介》

御出席の埼玉県議会議員の先生方にそれぞれ自己紹介をお願いしました。

御出席された埼玉県議会議員の先生方（選挙区順）

蒲生 徳明様（南第1区；草加市）	小島 信昭様（南第12区；さいたま市岩槻区）
立石 泰広様（南第2区；川口市）	清水 義憲様（南第13区；上尾市・伊奈町）
永瀬 秀樹様（南第2区；川口市）	岡地 優様（南第14区；桶川市）
鈴木 弘様（南第4区；さいたま市北区）	細田 善則様（南第20区；戸田市）
高木 真理様（南第4区；さいたま市北区）	岩崎 宏様（北第2区；横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村）
沢田 力様（南第5区；さいたま市大宮区）	齊藤 邦明様（北第3区；本庄市、神川町、上里町）
井上 将勝様（南第6区；さいたま市見沼区）	石井 平夫様（東第5区；蓮田市）
田村 琢実様（南第6区；さいたま市見沼区）	岡 重夫様（東第6区；白岡市、宮代町）
浅野目義英様（南第9区；さいたま市浦和区）	白土 幸仁様（東第7区；春日部市）
宮崎栄治郎様（南第10区；さいたま市南区）	山下 勝矢様（東第10区；三郷市）
	合計 20名



埼玉県議会議員のご紹介

《さいたま市議会議員の皆様のご紹介》

御出席のさいたま市議会議員の先生方にそれぞれ自己紹介と市議会を代表して副議長の小森谷優様に御挨拶をお願いしました。

御出席されたさいたま市議会議員の先生方（選挙区順）

上三信 彰様（西区）	萩原章弘様（南区）
関根 信明様（北区）	神崎 功様（緑区）
新藤 信夫様（大宮区）	新井森夫様（岩槻区）
小森谷 優様（見沼区）	江原大輔様（岩槻区）
鶴崎 敏康様（見沼区）	大木 学様（岩槻区）
中島 隆一様（中央区）	高野秀樹様（岩槻区）
青羽健仁様（浦和区）	吉田一志様（岩槻区）
	計 14名

《さいたま市議会議員の御祝辞》

さいたま市議会副議長 小森谷優様

皆様、新年あけましておめでとうございます。

また、本日は高橋三男会長、埼玉文化賞の受賞、誠におめでとうございます。さいたま市議会の誇りでございます。高橋三男会長は埼玉県獣医師会の会長ですが、さいたま市のために御活躍されている方でもございます。今後とも、御健勝で、さいたま市発展のために、お力添えをいただければと思っております。私たちは、さいたま市議会として、動物と人間がともに、生き生きと生きられ、触れ合える、そういった町づくりをしてまいりますので、今後とも御指導、御協力をよろしくお願い申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。



さいたま市議会副議長 小森谷優様



さいたま市議会議員の紹介

《日本大学校友会の御祝辞》

御出席の日本大学校友会の方々に御登壇いただき、次の方に御祝辞をいただきました。

埼玉県支部支部長 田村榮一様

我々は高橋三男会長と同じ日本大学の同窓であります。今後とも、高橋三男会長を全員で支援していきたいと思っています。皆様、よろしくお願いいたします。

元日本大学総長 日本獣医師会副会長 酒井健夫様

新年明けましておめでとうございます。また、高橋三男会長が埼玉文化賞を受賞されました。誠におめでとうございます。壇上には、日本大学校友会埼玉県支部の田村榮一支部長を始め、同窓生が揃っています。埼玉県と埼玉県獣医師会の発展、更には高橋三男会長の発展を祈念して、皆様方と一緒に祝いします。今後ともよろしくお願いいたします。



御祝辞を頂いた日本大学校友会 埼玉県支部支部長 田村榮一様(右)、元日本大学総長 日本獣医師会副会長 酒井健夫様(左)



日本大学校友会の皆様

9 来賓の御祝辞(2)

引き続き、次の御来賓から御祝辞を頂きました。

《株埼玉新聞社名誉顧問 丸山 晃様の御祝辞》

17年前に高橋三男先生が埼玉県獣医師会の会長になった。それまでの獣医師会といえば、畜産のまとめ役だった。高橋三男会長になって、愛玩動物と人間の付き合いをどうしたらいいかということになって、獣医さんと我々の関係も近くなった。動物の細菌やウイルスが人に感染する危険性は高いが、埼玉県で今、事故がないということが、高橋三男会長を始め、今日出席している獣医師さんの御努力の成果だと思っている。動物を可愛がることは大事であるが、今は、凄く可愛がり過ぎている。一緒に風呂に入ったり、寝たりしている。そこで人獣感染が起きたら大変なことになる。埼玉県では、獣医師会が使命を果たしているから何も起っていない。そして、この埼玉文化賞がある。本当におめでとうございました。



御祝辞を頂いた埼玉新聞社名誉顧問
丸山 晃様

《さいたま観光国際協会会長 清水志摩子様様の御祝辞》

高橋三男会長本当にいつも、いつもお世話になっております。また、このたびの埼玉文化賞の受賞、誠にありがとうございます。

高橋三男会長は獣医さんでありながら、商工会議所や観光面でもいろいろと御活躍いただいております。高橋三男会長の凄いところは大胆かつ緻密であり、一旦役を引き受けられると、全身全霊それに没頭されることです。誰にでもまねのできることを思っていません。本当に、このたびの受賞おめでとうございます。これからも、健康に気をつけられて、ますます御活躍されますよう心からお祈り申し上げます。



御祝辞を頂いたさいたま観光国際協会
会長 清水志摩子様

《埼玉県農林部長 河村 仁様の御祝辞》

明けましておめでとうございます。新春懇談会と高橋三男会長の埼玉文化賞受賞おめでとうございます。高橋三男会長には大変お世話になっておりまして、御礼申し上げます。埼玉畜産を盛り上げていきたいと思っ



御祝辞を頂いた埼玉県農林部長
河村 仁様

ていますので、引き続き御指導をよろしくお願いいたします。本日は、誠におめでとうございます。

《関東地区獣医師会連合会会長 横浜市獣医師会会長 井上亮一様の御祝辞》

関東地区獣医師会連合会会長で、横浜市獣医師会会長の井上亮一と申します。本日は高橋三男会長、誠におめでとうございます。大先輩であります高橋三男会長には、私たちの指導者として、大変お世話になっております。本当に、ありがとうございます。埼玉県獣医師会のますますの御発展と、高橋三男会長の御健勝を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。おめでとうございます。



御祝辞を頂いた関東地区獣医師会連合会会長 横浜市獣医師会会長 井上亮一様



交流を深める皆様

御挨拶を頂いた方以外にも、政財界から多くの御来賓に御出席賜り、会場では会員や来賓が交流を深めておりました。

御出席頂いた多くの御来賓の中で、メインテーブルに御着席を頂きました方は次のとおりです。

(順不同)

埼玉県知事	上田 清司様	日本獣医師会会長	藏内 勇夫様
埼玉県議会副議長	岩崎 宏様	日本獣医師会顧問	北村 直人様
さいたま市長	清水 勇人様	埼玉県医師会長	金井 忠男様
さいたま市議会副議長	小森谷 優様	埼玉県商工会議所連合会会長	佐伯 鋼兵様
埼玉県市長会長（久喜市長）	田中 暄二様	埼玉新聞社代表取締役社長	小川 秀樹様
埼玉県町村会長（滑川町長）	吉田 昇様	埼玉県議会議員	小島 信昭様
埼玉県町村会副会長（寄居町長）	花輪利一郎様	さいたま市副市長	木下 達則様
桶川市長	小野 克典様	日本大学校友会埼玉県支部支部長	田村 榮一様
白岡市長	小島 卓様	さいたま観光国際協会会長	清水志摩子様



メインテーブルに着席の御来賓

10 締め

宴もたけなわとなり「締め」に移りました。

「締め」の御発声を元衆議院議員 農林水産副大臣 日本獣医師会顧問の北村直人様にお願ひしました。北村直人様からは「今日は高橋三男会長率いる埼玉県獣医師会の新春懇談会、そして何よりも高橋三男会長が埼玉文化賞を受賞されたことは、本当に素晴らしいことです。その報告も兼ねた祝賀の宴で、締めができることを、この上ない喜びに感じている一人であります。高橋三男会長御夫妻、更に高橋三男会長とともに歩む埼玉県獣医師会の会員の皆様方のますますの御活躍、御健勝並びに獣医療を支えていただいております関係団体の御活躍と御協力、そして御参会の皆様方の御多幸と御活躍を祈念いたしまして、関東一本締めで締めますので、御唱和願ひます。」とのお言葉をいただいて、大きく手締めが行われました。



元衆議院議員 農林水産副大臣 日本獣医師会顧問 北村直人様により手締めが行われた

11 閉会

閉会にあたり小暮一雄副会長が御参加いただいた方々に御礼を述べ、新春懇談会・高橋三男会長埼玉文化賞受賞報告会は午後5時30分に散会となりました。

埼玉文化賞受賞報告会であいさつをする高橋三男会長。さいたま市大宮区の大宮フオーレ清水園。

埼玉文化賞受賞報告会
獣医師会・高橋三男会長
文化賞受賞を報告
県獣医師会 高橋三男会長

「新春懇談会並びに埼玉文化賞受賞報告会」が、さいたま市大宮区の大宮フオーレ清水園で開かれ、約420人が出席した。

高橋三男会長は、昨年11月、埼玉新聞社制定の「第58回埼玉文化賞」（農林部門）を受賞。長年にわたり開業医として小動物の診療に当たる傍ら、家畜衛生に尽力するなど、幅広い分野で獣医療の発展に尽力してきた。

報告会で高橋三男会長は「多くの皆様に支えられたおかげで受賞することができた。これからは、地域のため、業界のために与えられたことをしっかりと受け止めて、役に立つことを行っていきたい」とあいさつ。

来賓の上田清司知事は「獣医師会最大の功労者であり、県のためにさまざまな地域貢献を行っている。日本獣医師会のリーダーとして重要な役割を務めてもらいたい」と祝辞を述べた。

（荒木敏行）

埼玉新聞切り抜き記事 1月28日から

高橋三男埼玉県獣医師会会長 埼玉県医師会新年会に招かれる



横倉義武日本医師会会長(中央)と懇談する高橋三男会長(右)
左は、中村滋副会長

平成28年2月6日(土)午後6時から、パレスホテル大宮で第1回目となる埼玉県医師会主催の新年会「2016新春の集い」が開催され、医療関連団体として高橋三男埼玉県獣医師会会長が来賓として招待されました。

席上、同じく来賓として招かれていた日本医師会の横倉義武会長と歓談され、医師会と獣医師会との連携協力についての現状と将来について話し合われる機会がありました。

横倉会長は、福岡県医師会に所属され、同じ福岡県のご出身である藏内勇夫日本獣医師会会長とは旧知の間柄であります。高橋会長は、藏内会長には日頃から日本獣医師会の場で大変お世話になっている旨などを横倉会長に話され、さらに、本年11月10日(木)・11日(金)に福岡県北九州市で開催される「第2回世界獣医師会-世界医師会 “One Health” に関する国際会議」に話題が及ぶなど、医師会と獣医師会との連携の推進や“One Health”の取組みについて意見を交わされました。

平成27年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を開催

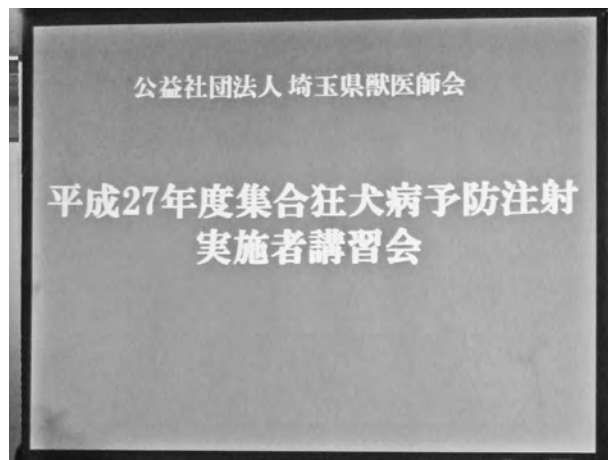
平成28年1月22日(金)午後1時15分から、大宮ラフォーレ清水園（さいたま市）寿の間において「平成27年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」を開催しました。

この講習会は、埼玉県獣医師会が市町村との契約に基づき実施している集合狂犬病予防注射を的確に実施するために開催するもので、「集合狂犬病予防注射実施要領」及び「同細部要領」に定められている教育研修に位置付けられております。

今年度は、集合狂犬病予防注射実施予定者に加え、勤務会員や県・市町村の職員などにご案内し、357名もの多くの方々にご参加いただきました。



主催者挨拶をする高橋三男会長



開会

長谷川繁雄狂犬病予防委員会副委員長の司会により進行され、中村滋副会長の開会の後、高橋会長から「埼玉県獣医師会は、人と動物の共通感染症の対策に最も大事な狂犬病予防注射を市町村長との契約のもとに、公益法人として進めている。埼玉県獣医師会は全国的にもモデル的な注射ができているのではないかとこの自負心を持っており、これからも地域に根差した個性のある獣医師会にしていきたい。本日の講習会が意義ある講習会であり、4月1日からの狂犬病予防注射が事故なく進むことを心から願います。」との挨拶がありました。

続いて、御来賓を代表して公益社団法人日本獣医師会の境政人専務理事から「藏内会長から『日本獣医師会や地方の獣医師会の仕事を行うにはビジョンを持って、スピード感を持ってやるように』といつも言われている。そのため、重要な案件はロードマップを作成して、着実に実施をしている。特に、狂犬病予防注射を含む人と動物の共通感染症対策については、特別委員会で検討することになっている。日本医師会との学術連携協定については、埼玉県は実現できているが、全国全ての都道府県が平成28年度中に締結することとしている。また、マイクロチップも平成30年に法改正が予定されているので、これに合わせて実施していく。この2つの看板を掲げて社会に貢献していく。」と挨拶されました。



来賓挨拶をされる境政人日本獣医師会専務理事

続いて、事務局から講師が紹介され講演に入りました。

講演

初めの講演は「獣医師・獣医師会を巡る情勢について」と題して、日本獣医師会顧問の北村直人先生に、獣医師と獣医学教育の規制緩和の問題についてお話をいただきました。

講演内容は次のとおりです。



講演する北村直人先生

昨年の6月に、政府が閣議決定した全ての分野における規制緩和といわれる政策があるが、獣医師も例外ではない。その規制緩和を議論するワーキンググループが官邸内に設置されており、獣医師分野も獣医師養成系大学・学部の新設に関する検討が行われており、次の4つのことが議論された。①獣医師養成大学を規制するのではなく、設置したい大学は自由に設置させる。(経営は設置した大学の自己責任であり、既存大学も淘汰されるべき。)②学生には、定数を設けるのではなく自由に学びたい者には機会を与えるべき。(学問についていけない学生や国家試験の可否は自己責任である。)③獣医師の数が増え、獣医師で生活ができないのであれば、別な分野へ就活すべき。(開業獣医師が増えるのであれば、開業試験等を導入すべき。)④医師は皆保険制度の中で医療行為、獣医師は自由業なので市場原理で議論する、といった議論がなされている。これには、既存の獣医師養成でない構想が具体化し、ライフサイエンスなどの獣医師が新たに対応すべき分野における具体的な需要が明らかになり、かつ、既存の大学・学部では対応が困難な場合には、近年の獣医師の需要の動向も考慮しつつ、全国的見地から本年度内に検討を行う。との官邸からのホームページにも掲載されている。

まだまだ予断を許さないが、政府は、1月中旬に法改正を行い、3月までに、これらの大学を作っていいという人だけを集めた地域会議を開催し決定していこうとしている。将来の獣医師がどういう環境に置かれるか心配であることから、汚点、禍根を残さないよう、これらに立ち向かっていかなければならない。

続いて、日本大学生物資源科学部教授丸山総一先生の講演に移りました。



講演する丸山総一先生

丸山先生からは「伴侶動物が関わる動物由来感染症」と題して、これから訪れる高齢化社会や人口減少の流れを見据えて、今後の動物病院の有り方をお話ししていただきました。

講演内容は次のとおりです。

本日集まっている先生方が関わる動物は犬、猫、エキゾチックアニマルなどであり、伴侶動物が中心となっている。現在は、人と動物の距離が近くなってきており、家族の一員として飼育されていることが多い。日本で飼育されている犬と猫は1千万頭近くであり、6.2人に1人、あるいは2.5世帯に1世帯が犬あるいは猫を飼っていることになる。

「動物由来感染症」とは、自然の状態、人と脊椎動物の間で、相互に移行しうる感染症のことをいうのであって、世界では150種以上の感染症が知られているが、日本では比較的少なく、数十種程度といわれている。人に感染する1,709の病原体の約半分の49%は動物由来感染症であり、また、156種の新興感染症のうち、73%が動物由来感染症であるともいわれている。日本での感染症が少ない理由として、①日本は島国で

哺乳類が移動しにくい。②家畜衛生対策が徹底している。③衛生概念が高い国民性などがあげられる。

ただし、少ないとはいえ、近年、いろいろな感染症が話題になってきている。その背景としては、①人間社会の変化、人の行動多様化（国際化した社会での膨大な人と動物の移動）②自然環境の変化（温暖化による動物の北上化、里山の消失、人口の都市集中化、ペットのハウス化）③老人人口の増加（若い人より抵抗力が低い）④科学技術の発達で、わからなかった病原体の発見⑤微生物の適応変化など、があげられる。ここ10年間の動物由来感染症では、狂犬病の輸入事例、腸管出血性大腸菌、デング熱、マーズなどがある。その病原菌は人の目に見えないことから、日頃からきちんと予防しておく必要がある。狂犬病は東南アジアでは主に犬が媒介し、北米ではスカンクやアライグマなどの野生動物が、南米では吸血コウモリ、アフリカでは犬、マングースなどがあげられる。日本で登録されている犬の数は、実際に飼育されている犬の数より少ないといわれている。犬の狂犬病の接種率は全体の47%から37%といわれている。特に、予防注射をしっかりとしておかないと、また発生してしまう。野生動物に狂犬病が広がると、その対策に膨大なコストがかかってしまう。日本のアライグマが人を噛んだ、外国船から犬が上陸した、外国のコンテナからコウモリが逃げたなどの事例もある。このため、国外から動物を持ち込ませないとか、海外でむやみに動物に触らないようにし、万が一、海外から入り込んだら、人と犬への対応を早くし、清浄化する対策が必要となる。

獣医師は動物と飼い主のインターフェイスになっていると思うので、動物感染症のことも勉強していただいて、その予防に努めていただきたい。

先生には、このほか、猫引っかき病、犬のブルセラ症、猫の皮膚糸状菌症などのお話もしていただきました。

最後に、日本獣医師会副会長の酒井健夫先生から、「大学教育から見た獣医師の将来像について」と題して、獣医科系大学の現状と、学生との関わり方などについてお話ししていただきました。



講演する酒井健夫先生

講演内容は次のとおりです。

獣医学教育というのは、社会の要請に応じて自ら改善してきている。昭和42年から始まった獣医学の六年制教育が完成したのは15年後の昭和58年である。物事を成すには15年以上かかる。目先でものごとを考えるのではなく、論理的、計画的、かつ、政治の力を使いながらやっていくことが大事である。

国際獣疫事務局や世界獣医学協会からの日本の獣医学教育に対する勧告を受けて、平成15年から獣医系16大学の改善が進んでいる。現在は獣医師会が中心となって、国際水準の獣医学を充実するために、モデルコアカリキュラムの51科目が設定されている。このほかに、第三者評価を今年度は試行で2校行った。教養試験は臨床実習を伴うので、4年生の時に教養試験を受けることになる。平成28年度から本番化するが、4年生で試験を受けて合格しなければ、臨床実習ができなくなり、結果、留年ということになる。これは、学内で国家試験のミニチュア版に取り組んでいるようなものだ。

臨床実習の充実、病院と実習室の整備ということが現在の大学に必要とされている。例えば、北大と帯広畜産大が教養課程、岩手大学と東京農工大学が共同学科、岐阜大学と鳥取大学が共同学科、山口大学と鹿児島大学が教養学部で共同教育施設が設けられている。

モデルコアカリキュラムには専任の教員をつけるという申し合わせができており、既に、大学には72名の専任教員と病院に7名が配置されている。

また、分野別の第三者評価を7年かけて16大学の全てにおいて行うこととなっている。

教養試験は、昨年、試行を16大学すべてで行い、今年から本格実施する。今の政府の規制緩和のようなやり方は無責任である。大学に入ってきたら、100%獣医師の国家試験のライセンスを取らせて、生涯にわたって仕事についてもらうということにする。

また、小動物への従事志望者が少ないといわれているが、平成6年は35%だったものが、今は49%（約550人）となっている。一方、公務員も不足しているといわれているが、昭和6年の24%が現在は20%となっている。この間に、仕事の内容を変えてきたのか、現場や待遇は改善をしてきたのかということが大きな問題だと思っている。

職業が未定、不明な者が年々増えてきている。これには、偏差値入試の影響があるのかも知れない。現在、750名が無職で、特に、20代、30代、40代の女性が多い。この750名の無職の方々を就業させることが重要である。現在、分野別の獣医師数は小動物が39%、産業動物が11%、公務員が24%、大学14%、従業員・就業なしが12%となっている。

もう一つ、大きな問題としては、これから長期的、安定的に勤務する条件があげられる。また、給与、休日、休暇の整備、スタッフの自己研鑽の場等が必要になってくる。これらができるかできないかで、学生からの評価も変わってくる。

獣医師のチーム獣医療も大切である。獣医師と動物看護師の組み合わせでチーム医療が完成するが、長期的に勤務できることが大事になってくる。日本に獣医師制度ができて130年経つが、150年後、200年後に向けて我々は考えていかななくてはならない。1995年に横浜で世界獣医学協会の世界大会が開催され、これによって、より近代的な獣医学の中に入って来たと考えている。大学と社会が手を組んで、次の世代の獣医師を育成していくことに期待をしたい。

事務連絡

終了後、八木狂犬病予防委員長及び事務局から集合狂犬病予防注射の留意事項とマイナンバー制度について次のとおり説明がありました。

- ① 必要書類については、速やか、かつ、正確に記入すること。
- ② 実施者は獣医師賠償責任保険へ加入し、注射事故に際しては、畜主には丁寧な対応を、患畜には迅速な処置をすること。そして、事務局、委員会に発生報告をして、支部長、班長などと協議しながら、複数の先生方と対処すること。
- ③ 平成28年度集合狂犬病予防注射実施希望者（辞退者）は、2月12日までに希望等届と契約書を班長に提出すること。
- ④ 班長は2月19日までに支部長に提出すること。
- ⑤ 支部長は2月26日までに事務局に提出すること。
- ⑥ 集合注射の実施日程を市町村と取り決め、3月15日までに事務局に提出すること。
- ⑦ マイナンバーの個人番号届出書、扶養控除等申告書等を作成の上、4月4日までに事務局に返送する。

閉会

小暮一雄副会長が閉会の辞を述べ、午後3時15分に閉会となりました。

本県における豚流行性下痢（PED）の発生について

平成28年 2月12日
埼玉県農林部畜産安全課

2月12日（金）、県内の一養豚農場において、今季5例目（通算9例目）となる豚流行性下痢（PED）の発生が確認された。

1 発生の概要

- （1）発生農場：繁殖豚70頭飼養の一貫経営農場（所沢市）
- （2）症 状：肥育豚の嘔吐・下痢
- （3）発症頭数：肥育豚30頭

2 経緯

- （1）2月11日（木）、肥育豚舎の肥育豚30頭が嘔吐・下痢。
- （2）同日、発症豚の糞便等9検体を材料にPCR検査開始。
- （3）2月12日（金）、9検体全てでPCR検査陽性を確認し、臨床症状と併せて、本症例を豚流行性下痢と診断した。

3 県の対応

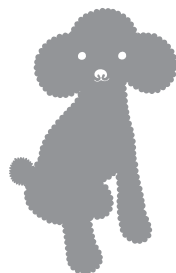
- （1）2月11日（木）、発生農場に対し、感染拡大防止のため豚舎や車両の消毒等の徹底を指導するとともに、豚の移動自粛を要請した。
- （2）2月12日（金）、県内全養豚農場に対し、電話等により豚の緊急調査を実施するとともに、豚舎や出入り車両の消毒等の徹底及びワクチン接種を指導した。

4 その他

- （1）本県の発生状況
本県では、平成26年に2例、平成27年に2例発生があり、今回で通算9例目の発生となる。
- （2）全国の発生状況（平成28年2月7日現在）

平成25年10月～平成26年8月	817件	129万頭
平成26年9月～平成27年8月	233件	30万頭
平成27年9月～	60件	4万頭

PEDは、家畜伝染病予防法で指定される豚の「届出伝染病」であり、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの殺処分を義務付けている「家畜伝染病」には指定されていない。
また、人に感染することはない。



会 務 報 告

第 3 回 狂犬病予防委員会

平成28年1月22日(金)午前11時から、さいたま市「清水園」において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

狂犬病予防注射は行政と力を合わせて地域住民の健康を守るという埼玉県獣医師会に与えられた最も大事な事業である。全国的にも埼玉県の狂犬病予防対策が一番素晴らしいと思っている。本日は、狂犬病予防注射講習会と懇談会・埼玉文化賞受賞報告会を行うこととなっているが、よろしくお願いします。

2 協議事項

(1)平成27年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の開催について

本日午後から開催される講習会の進行計画、役割分担や手順について再確認した。

(2)平成28年度集合狂犬病予防注射に向けての今後のスケジュールについて集合注射の実施に向けた事務手続きやスケジュールについて協議した。

実施希望(辞退)届及び実施契約書の提出期限は次のとおり。

- ① 配布 本日の講習会にて各委員、班長から配布
- ② 狂犬病予防協会研修会 2月3日(水)
- ③ 班長への提出期限 2月12日(金)
- ④ 班長から支部長への提出期限 2月19日(金)
- ⑤ 支部長から事務局への提出期限 2月26日(金)

予 告

西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1))

西支部長 別部 博司

西支部では、平成28年3月6日(日)に病理組織診断CAPITAL代表 石原勇介先生をお招きして「病理組織診断を最大限診療に生かす為に」の演題で学術講習を行います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

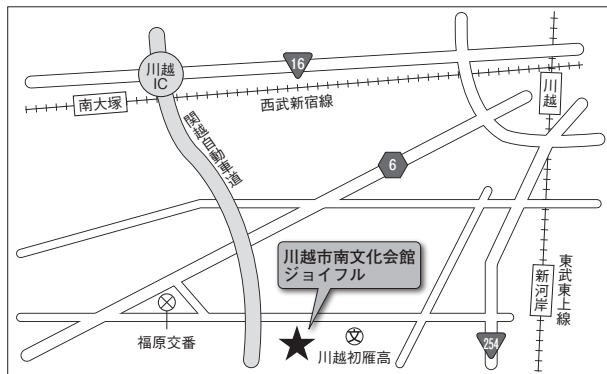
日 時 平成28年3月6日(日)
13:30~16:30 (受付13:00~)

場 所 川越市南文化会館(ジョイフル)
川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115

演 題 「病理組織診断を最大限診療に生かす為に」

講 師 病理組織診断CAPITAL
代表 石原 勇介 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯教育研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (4))

さいたま市支部長 山中 利之

さいたま市支部では平成28年3月20日(日・祝)、鳥取大学教授 岡本 芳晴先生をお招きして「がん治療最前線」と題しまして、がんの3大治療(外科切除・放射線・抗癌剤)が選択できない症例に対するがん治療について紹介していただきます。動物の高齢化に伴い腫瘍症例は益々増加してきており、選択肢の一つとして提示していただけるものと考えております。

是非、多くの先生方にご参加いただきたいと思います。

日 時 平成28年3月20日(日・祝)

13:30~17:00

場 所 ソニックシティビル 906

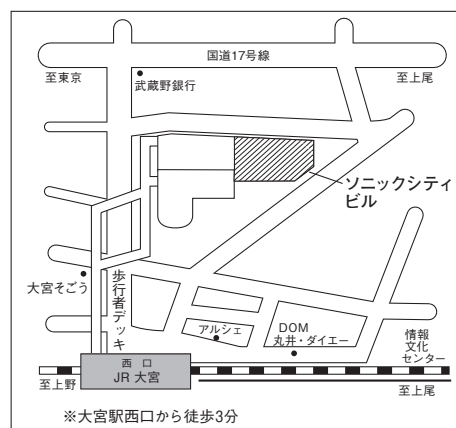
さいたま市大宮区桜木町1-7-5

TEL 048-647-4111

演 題 「がん治療最前線」

講 師 鳥取大学 教授 岡本 芳晴 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



南第一支部・第二支部合同学術講習会開催のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (4))

南第一支部長 田中 裕 南第二支部長 長澤 泰保

南第一支部第二支部では、3月21日(月・振休)に、本年度3回目の学術講習会を開催することとなりました。今回は、日本獣医生命科学大学の澤田治美(さわだはるみ)先生をお招きして「放射線治療総論・各論」について講義をしていただくことになりました。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成28年3月21日(月・振休)

13:30~16:30 (受付13:00~)

場 所 川口総合文化センターリリア 11F大会議室

埼玉県川口市川口3-1-1

(JR京浜東北線 川口駅西口正面)

TEL 048-258-2000

演 題 「放射線治療総論・各論」

講 師 日本獣医生命科学大学 附属動物医療センター助教
放射線科 澤田 治美先生

会 費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



ひろば

(公社)埼玉県獣医師会主催

ボウリング大会の開催

平成28年2月11日(木・祭日)、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会が、スポーツ浦和国際ボウル(さいたま市)を会場に51名が参加して開催されました。

この大会は、昨年に引き続き、埼玉県獣医師会の福利厚生事業の一環として会員やご家族、賛助会員等の健康増進と親睦を目的に開催しました。

大会運営には、ボウリング同好会の先生方の御協力をいただき、厚生委員会があたりました。



開会式で挨拶する高橋三男会長



開会式

開会式

厚生委員会の米元仁委員(西支部)の司会により、午後3時30分から開会式が行われました。

山中利之厚生委員長(さいたま市支部)による開会の言葉、高橋三男会長の挨拶に続き、賛助会員様からの御協賛品の紹介、注意事項などの説明があり、高橋会長の始球式により午後4時から競技が開始されました。

各賞を目指して熱戦が繰り広げられる

参加者が3名ずつ18レーンに分かれて熱戦を繰り広げました。性別と年齢によりハンディキャップを設け、1人2ゲームを投球した合計点で競いました。

競技は厚生委員やボウリング同好会の先生方の円滑な運営により和やかなうちに進み、各レーンではハイタッチする光景や、笑い声、歓声が響き、楽しいひと時を過ごされていました。

表彰式

2ゲームの投球を終えて午後5時30分から表彰式が行われ、司会者から成績が発表されました。

上位の成績は次のとおりですが、優勝は、小川 実先生(農林支部)に輝き、高橋会長から賞状、優勝トロフィー、記念品が贈られました。



高橋会長による始球式



熱戦が繰り広げられる

上位成績

		スクラッチ	ハンディ	合計
優 勝	小川 実先生（農林支部）	332	120	452
準優勝	吉川康一先生（さいたま市支部）	281	120	401
3 位	布川香奈江さん（南第一支部）	397	0	397
4 位	安里 誠さん（衛生支部）	297	100	397
5 位	布川 昭一先生（南第一支部）	390	0	390
ハイゲーム	男子 布川 昭一先生（南第一支部）	202		
	女子 布川香奈江さん（南第一支部）	207		

特別賞として「ハイゲーム賞」、「ブービー賞」、「ブービーメーカー賞」、「ニアピン賞」、「飛び賞」が設定されました。「ハイゲーム賞」には男子部門で202点の布川昭一先生（南第一支部）が、女子部門は207点で布川香奈江さん（南第一支部）が獲得しました。

「ブービー賞」には相川富男さん（㈱アスコ）、「ブービーメーカー賞」は三澤 輔さん（さいたま市支部）となりました。

「ニアピン賞」は「高橋会長賞」として、高橋会長のスコアに最も近かった方で、1 ゲーム目が三森信行先生（西支部）、2 ゲーム目が浅見 裕先生（北支部）となり、高橋会長に提供いただいた賞品を会長から贈呈していただきました。

「飛び賞」は次の方々で、それぞれに賞品が贈られました。

7 位	三森 信行先生（西支部）	30位	小林絵梨子さん（森久保薬品㈱）
10位	別部 博司先生（西支部）	35位	秋山毅一郎先生（衛生支部）
15位	小川 勝さん（日本全薬工業㈱）	40位	大橋 邦啓先生（北支部）
20位	嘉戸 達郎先生（東支部）	45位	澤村麻衣子さん（東支部）
25位	直井 昌之先生（さいたま市支部）	50位	相川 富男さん（㈱アスコ）



優勝した小川 実先生(右から3人目)を囲んで
右から、中村 滋副会長、高橋三男会長、優勝した小川 実先生(農林支部)、
山中利之厚生委員長、小暮一雄副会長



右から高橋三男会長、「ハイゲーム賞」
を御夫婦で受賞した布川昭一先生(南第
一支部)、布川香奈江先生(南第一支部)

終わりにあたり、小暮一雄副会長が閉会の言葉を述べ、午後6時にボウリング大会は盛会裏のうちに幕を閉じました。

多くの方々に参加をいただく中、滞りなく進行ができるとともに、交流を深めることができました。
厚生委員の先生方とボウリング同好会の斎藤和也先生を始めとする皆様方には、大会の準備や運営にあたりまして、絶大なる御協力をいただき誠にありがとうございました。
また、賛助会員の皆様には、多くの方の参加と沢山の賞品等をご提供いただき厚く御礼申し上げます。
さらには、お忙しい中、御参加いただいた先生方、御家族の皆様にご改めて感謝申し上げます。

上尾市長選挙で、現職の島村みのる氏を推薦



島村みのる氏へ推薦状を伝達
左から、高橋三男理事長、島村みのる氏、長澤泰保先生

平成28年2月7日(日)に行われた上尾市長選挙で現職の島村みのる氏が再選されました。

埼玉県獣医師政治連盟では、この度の市長選挙にあたり島村みのる氏を最適任者として推薦することとし、2月3日には高橋三男理事長と長澤泰保先生（南第二支部）が島村みのる後援会事務所（上尾市）を訪れ、埼玉県獣医師政治連盟理事長と日本獣医師政治連盟委員長の推薦状を交付いたしました。

今回、再選を果たされた島村市長には、引き続き、動物行政の推進を通じて健やかに安心して暮らせる市政の推進に期待するとともに、今後の御活躍を祈念するものです。

平成27年度東支部新年会開催報告

東支部支部長 八木 賢裕

平成28年1月24日(日)越谷サンシティにおいて東支部新年会を開催いたしました。

埼玉県獣医師会会長の高橋三男先生、中央家畜保健衛生所所長の須賀幸司先生、熊谷家畜保健衛生所所長の岩田信之先生の出席を頂き、大変有意義なお話を聞くことができました。

また支部員63名の出席を頂き、支部長として大変うれしく思いました。

今年は、プロのジャズシンガーのあさばみほさん、Rinda Estrelaさん、そして幸手市開業の大橋秀樹先生のトリオでバンド演奏をしていただき、あっという間に時間が過ぎていきました。

今年はさらに2名の新しい仲間を迎える予定であり、来年もにぎやかに新年会を開催できそうです。

西支部学術講習会開催報告

西支部学術委員 佐藤 博司

2月14日(日)東松山市 ホテル紫雲閣にて西支部学術講習会を開催いたしました。栃木県宇都宮市開業 臼井玲子先生をお招きし、「耳科診療アップデート 耳炎撲滅に向けて…」という演題でご講演いただきました。

麻酔下でオトスコープを使用して鼓膜周囲を正常化することによりステロイドを使用することなく耳炎を完治できるとの熱意ある講演でした。実際の処置を多くの動画を用いて解説していただき大変わかりやすい内容でした。講習、懇親会を通して臼井先生は何度も「このような機会を頂き感謝申し上げます。地域で苦しむ動物の耳炎の撲滅をよろしくお願いします」と仰っていました。今回ご参加いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
45名	3名	1名	1名	29名	2名	4名	2名	3名

北支部研修会及び新年会開催報告

北支部長 大橋 邦啓

平成28年1月17日(日)埼玉グランドホテル深谷において、北支部研修会及び新年会が開催されました。

研修会では共立製薬(株)栗木先生に「大動物におけるNSAID s における炎症の管理」と題しましてご講演していただきました。

引き続き行われた新年会では埼玉県熊谷家畜保健衛生所・岩田信之所長の御臨席を賜り御祝辞を頂きました。新年会は和やかな中に終了いたしました。

<参加者内訳>

出席者	北支部	農林支部
33名	32名	1名



切り抜きニュース

農業高校 羽ばたく女子 動物飼育や園芸・料理の教育充実

力仕事が多くて泥にまみれる。そんなイメージもある農業高校で、女子の割合が近いうちに全国で5割を超えそうだ。農家の減少などを理由に男子が激減する一方、ペットを育てたりケーキやパンを作ったりする授業の充実で、女子の人氣が高まっている。漫画も一役買っているようだ。

野菜や果樹の育て方などを学ぶ東京都立園芸高校（世田谷区）の飼育棟。

「お手!」「待て!」「伏せ!」

動物科2年の福田光世さん（17）ら女子生徒4人がトイプードルなど4匹の犬のしつけを始めた。指示を聞かず、飛びついてくる犬たちをしかり、3回目でやっと指示に従わせた。「いい子いい子」。優しく声をかけた。

同校は農業高校のひとつで、園芸、食品、動物の3学科がある。全校生徒143人。このうち女子は95人で、約7割を占める。1989年度に初めて女子が男子を逆転し、男子が多かった造園科を動物科に改編した2006年度には、3学科すべてで女子の数が男子を上回った。

福田さんは自宅でインコやハムスターを飼っていて、動物園の飼育員やトリマーになろうと同校を選んだ。「農業高校でも農業以外の選択肢が広がっている。実習を通じて動物に関わる仕事につきたい」

徳田安伸校長は「農業高校は男子が多いというイメージは大きく変わった。学びが多様になり、女子の進路のひとつとして定着してきている」と話す。

昨年12月末に公表された文部科学省の学校基本調査の詳細版によると、15年度の農業高校の女子の割合は48.8%（4万514人）で過去最高に。95年度は33.5%（4万4488人）で、20年間で15.3ポイント増えた。少子化などの影響で女子も人数は減っているが、男子は20年間で半減したのに対し、女子は約9%減にとどまっている。

学科別にみると、農業関係は女子の割合が20年間で15.3%から40.4%に、園芸関係は30.7%

から55.3%、食品科学関係が41.9%から65.8%と、それぞれ1.6～2.6倍に伸びている。

文科省によると、女子の割合が増え始めたのは、1989年改訂の学習指導要領が実施された94年度ごろから。農業高校はもともと、農家の後継者をつくるために

家畜や農作物の育て方を学ぶなど農業生産を重視していた。だが、農家が減って志願者も減少。指導要領を改め、料理や花の装飾の仕方、犬など小動物の育て方を学ぶ授業を充実させることになった。

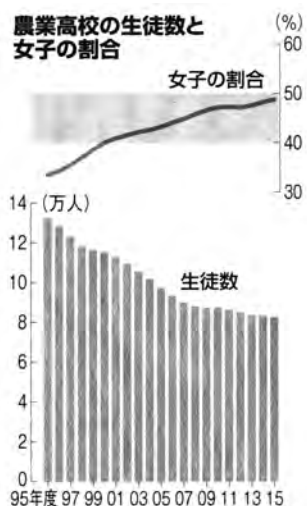
各農業高校では、パティシエやトリマー、フラワーアレンジメントなど女子に人氣が高い職業と直結する学習内容を充実させ、次第に女子の志願者が増えた。一方で、男子が多い農業土木や林業は人氣がなくなり、学科や募集人員が減った。

最近では、農業で女性が活躍する漫画のヒットも追い風になっている。北海道の農業高校を舞台にした漫画「銀の匙」（小学館）は単行本1～13巻の売り上げが1500万部を超え、映画やテレビアニメにもなった。女性が主人公の漫画「JA～女子によるアグリカルチャー～」(角川書店)も登場した。

文科省の担当者は「家畜や農作物の生産を重視する方向から、加工や装飾といった農産物の活用に農業高校の役割が広がった。女子の受け皿になりやすく、今後も女子が増えていくだろう」とみる。

(渡辺洋介)

朝日新聞 1月28日(木)



動物に頼らない服作り ブランドも保護へ取り組み

ファッション界で動物愛護への取り組みが広がっている。世界的な意識の高まりを背景に、動物の毛や皮を全く使わないブランドや、少なくともむやみに殺される動物からの素材は使用しない

というメーカーが現れている。一方、人工の毛皮やダウンも天然に近い良質のものが開発されている。

女優の杉本彩さんは昨年12月、自ら企画する服飾ブランド「ディアエルザ」の販売をスタートさせた。大人の女性に向けたシンプルなデザインのコートやワンピース、ブラウスなどを扱うが、どれもレーヨンやアクリルなどの化学繊維が原料で、ダウンや毛皮などは使っていない。

「食肉の副産物としての牛革などを否定するつもりはないが、それを得る過程で動物虐待がなかったと確認できないものは使いたくない」と杉本さん。

自ら動物愛護団体の理事長を務めるなど、以前から保護活動にも取り組んできた。「毛皮やダウンがどうやって採取されているかを知らない若い人の意識を変えたい」と杉本さんは話している。

スウェーデンの衣料大手「H&M」は、世界約80の製造工場が仕入れるウールやダウンなどの仕入れ先についても、素材となった動物の飼育環境が適正かどうかなどを調査した上で契約を結んでいる。2013年には、自社のニットの素材として使われていたアンゴラウサギの毛の取り扱いをやめた。生きたまま毛が抜かれていることが「残虐だ」として一時批判され、同社で扱う製品に問題ある採取法はなかったものの、世論の反発を案じたという。

動物保護に取り組むブランドもある。イタリアの高級服飾ブランド「ロロ・ピアーナ」では、希少動物ビキューナを保護するため、08年にはペルーに、13年にはアルゼンチンに民間保護区を設置し、密猟者から保護したり、生態研究を支援したりしている。ビキューナの毛は柔らかく滑らかな高級素材で、同ブランドのストールでは、カシミア製の約6万円に対し、ビキューナは約60万円に上る。

同ブランドは、保護区で先住民らが伝統的な方法で生きたまま捕獲して刈り取ったものなど、殺さないで得た毛しか使っていない。「動物保護がビジネスを守ることにもなる」との立ち位置だ。

動物の毛や毛皮を加工して衣服としてきた歴史は世界中にある。寒冷な欧州などでは毛皮の服が発達し、権威の象徴としても使われてきた。シベリアなどの先住民族の狩猟に詳しい国立民族学博

物館教授の佐々木史郎さん（文化人類学）は、毛皮などを利用する技術も、人類が長い時間をかけて洗練してきた文化だ。簡単には否定できない。むやみに命を奪わないでもすむように考えていくことが大切だ」と話している。

進化する化学繊維

化学繊維も進化している。毛皮では、海外高級ブランドでも人工素材を取り入れていて、キツネの毛皮をイメージして作られた「スーパーフォックス」＝写真、岡田織物提供



＝アクリル100%。素材を提供した三菱レイヨンのアクリル繊維事業部長、河崎隆雄さんは「一見して天然素材か人工素材かは分からない」と話す。天然の毛皮は染色が難しいが、人工的な毛皮は様々に染めることができる。河崎さんは「デザインの自由があり、表現の幅を広げる可能性がある」と指摘する。

ダウンも、天然に近い素材が開発されている。保温性を示すダウンパワーという指標で、天然の300以上に対し、従来のポリエステル製の中綿は150だった。現在、同社では240程度の製品を開発し、天然素材にかなり近づけている。また、天然素材に比べて、人工素材は供給が安定しているというメリットもある。

（福島憲佑）

読賣新聞 1月30日（土曜日）

ジカ熱 緊急事態宣言 WHO「世界の脅威」

【ジュネーブ、リオデジャネイロ共同】世界保健機関（WHO）は1日、ブラジルなど中南米を中心に拡大し、知的障害を伴うこともある小頭症との関連が疑われているジカ熱について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると宣言し、妊娠している女性が感染地域を訪問する場合は注意するよう呼び掛けた。

WHOによる緊急事態宣言は2014年8月の西アフリカでのエボラ出血熱感染以来。各国は感染拡大阻止に向け対応を急いでいる。日本も2日に関係省庁対策会議を開催。医師に症例の報告を義務付けるなど監視を強化し、国内で感染が広がらな

いよう全力を挙げる。

WHOのチャン事務局長は記者会見で「(小頭症の急増は) 異常な出来事で、(中南米以外の) 世界の他の地域にとっても公衆衛生上の脅威となっている」と指摘した。

チャン氏は過剰な渡航制限はすべきでないとする一方、妊婦が中南米などに渡航する場合は医師に相談し蚊に刺されない対策を取るよう促した。

WHOの米州地域事務局である汎(はん)米保健機関(PAHO)によると、中南米の感染国・地域は1日までにメキシコ、エルサルバドルなど26に上った。

150万人が感染したとの推定もあるブラジルは今月のカーニバルと8月のリオデジャネイロ五輪を控え、観光客減少を避けるため政府が対策に迫られている。

ルセフ大統領は軍を最大で22万人動員し、ジカ

熱を媒介する蚊の駆除や啓発に当たると表明。1日までに、蚊の繁殖を防ぐ活動をする衛生当局者が空き家など私有地に立ち入ることを可能にする大統領令に署名した。

カストロ保健相は1日、感染例の報告を各州に義務付けると表明。感染者からの献血を禁止する方針も明らかにした。

ブラジルに次いで感染者が多いとされるコロンビアの保健当局は1月30日、疑い例も含め約2万300人が感染し、うち2116人が妊婦だと発表。小頭症の報告例はないが、6～8ヵ月間は妊娠を避けるよう国民に勧告している。

WHOはエボラ熱のほか、09年に大量感染が起きた豚インフルエンザや、14年5月にはポリオ(小児まひ)でも同様の緊急事態を宣言している。

埼玉新聞 2月3日(水)

広告

胃腸と皮膚が気になる小型犬のための総合栄養食

Dr. CREDO No.1

ドクタークレド

- 食物アレルギーの原因となりにくい米と鶏肉を使用
- 優れた栄養バランスで皮膚・被毛の健康をサポート
- 健康的な腸内環境を保ち抵抗力を維持
- 抗酸化成分配合で毎日の健康を維持

本製品は小型成犬の健康維持をサポートするフードです。

『ドクタークレド』は、人の食品と同等基準の品質と安全性に、美味しさをプラスした動物病院専用フードです。
タイの世界的食品メーカー「ベタグロ社」のGMP・HACCP・ISOの認定を受けた工場で製造しています。



M 森久保薬品株式会社

神奈川県厚木市栄町1-8-17 TEL: 046-222-2333
東京: 042-364-3381 埼玉: 048-908-0881 三重: 046-848-2112 神奈川: 046-221-0520
ソウパ: 03-5643-1681 山梨: 055-224-5278 群馬: 027-238-3122 栃木: 028-668-3399
茨城: 029-241-5131 富山: 0476-40-5811 石川: 0475-24-1813

平成27年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成28年2月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
6月14日(日)		北支部 「麻酔モニタリングを読む」 山口大学 井芹 俊恵 先生 (熊谷市 熊谷市立商工会館)	
6月14日(日)		東支部 「とにかく尿検査、尿検査、尿検査！ 腎性蛋白尿を軽んじてはならない！」 日本獣医生命科学大学 竹村 直行 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
6月19日(金) ～21日(日)	第90回日本獣医麻酔外科学会／第102回日本獣医循環器学会／第57回日本獣医画像診断学会 2015春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月5日(日)		東支部 「皮膚科診療でペットオーナーの心をつかむ～継続診療につながるインフォームド・コンセントをしていますか～」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月19日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ！犬および猫の下部呼吸器疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
9月13日(日)	平成27年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (横浜) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (神奈川県横浜市 パシフィコ横浜)		
10月4日(日)		北支部 「こんな心電図に要注意！～症例から見る心電図の読み方～」 麻布大学 藤井 洋子 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
10月16日(金)	北支部 「子牛の免疫についてⅡ(離乳～育成期)」 酪農学園大学 大塚 浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月3日 (火・祝)		南第一支部・南第二支部 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後(1)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川口市 川口総合文化センター)	
11月8日(日)		東支部 「肝・胆・脾の診断と治療」 日本大学 坂井 学 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月29日(日)		西支部 「下痢・嘔吐の診療 (前半 下痢の診療)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月25日(金)	農林支部 平成27年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 さいたま共済会館)		
平成28年 1月17日(日)		さいたま市支部 「一人のできる 手術編」 南動物病院グループ代表 南 毅生 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
1月22日(金)			衛生支部 健康福祉研究発表会 (さいたま市 県民健康センター)
1月24日(日)		西支部 「下痢・嘔吐の診療 (後半 嘔吐の診療)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月9日(火)	農林支部 関東甲信越家保業績発表会 (水戸市 県民文化センター)		
2月14日(日)		西支部 「耳科診療アップデート 耳炎撲滅にむけて…」 講師 臼井犬猫病院 臼井 玲子 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
2月26日(金) ～28日(日)	平成27年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (秋田) (秋田キャッスルホテル、秋田アトリオン、にぎわい交流館AU)		
3月6日(日)		西支部 「病理組織診断を最大限診療に生かす為に」 病理組織診断CAPITAL代表 石原 勇介 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月10日(木)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 県食肉衛生検査センター)
3月20日 (日・祝)		さいたま市支部 「がん治療最前線」 鳥取大学 岡本 芳晴 先生 (さいたま市 ソニックシティ)	
3月21日 (月・振休)		南第一支部・南第二支部 「放射線治療総論・各論」 日本獣医生命科学大学 付属動物医療センター助教 澤田 治美 先生 (川口市 川口総合文化センター)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- | | | | |
|-----------|--|-----------|---|
| 1月17日 | さいたま市支部学術講習会 (さいたま市 With Youさいたま) | 2月26日～28日 | 平成27年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (秋田) (秋田県秋田市 秋田キャッスルホテルほか) |
| 1月17日 | さいたま市支部新年会 (さいたま市 プリランテ武蔵野) | 3月1日 | 畜産懇話会 (熊谷市 ホテルヘリテージ) |
| 1月17日 | 南第1支部新年会 (さいたま市 高砂) | 3月1日 | 埼玉県畜産会役員会 (熊谷市 ホテルヘリテージ) |
| 1月17日 | 西支部新年会 (川越市 川越プリンスホテル) | 3月6日 | 西支部学術講習会 (川越市 川越南文化会館) |
| 1月17日 | 北支部研修会・新年会 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷) | 3月9日 | 第1回開業部会第一・第二運営委員会 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 1月22日 | 平成28年新春懇談会 (さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) | 3月10日 | 第4回狂犬病予防委員会・第2回班長会議 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 1月24日 | 西支部学術講習会 (川越市 川越南文化会館) | 3月17日 | 第4回総務委員会 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 1月24日 | 東支部新年会 | 3月18日 | 平成27年度学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校卒業式 (さいたま市 パレスホテル大宮) |
| 2月3日 | 平成27年度埼玉県狂犬病予防協会研修会 (桶川市 さいたま文学館) | 3月20日 | さいたま市支部学術講習会 (さいたま市 ソニックシティ) |
| 2月3日 | 所得税確定申告・相続等個別相談会 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) | 3月21日 | 南第一支部・第二支部合同学術講習会 (川口市 川口総合文化センターリリア) |
| 2月5日 | 損害評価会家畜共済部会 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) | 3月23日 | 第6回理事会、第7回理事会 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 2月6日 | 埼玉県医師会賀詞交歓会 (パレスホテル大宮) | 3月24日 | 第6回日本獣医師会理事会 (東京都港区 日本獣医師会) |
| 2月7日 | 関東・東京合同地区獣医師会理事会 (横浜市 ホテルニューグランド横浜) | 4月10日 | 平成28年度第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会 (川崎市 ホテルKSP) |
| 2月11日 | 埼玉県獣医師会ボウリング大会 (さいたま市 スポーツ浦和国際ボウル) | 6月8日 | 埼玉県獣医師会第68回定時総会 (さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) |
| 2月14日 | 西支部学術講習会 (東松山市 紫雲閣) | | |
| 2月19日～21日 | 第12回日本獣医内科学アカデミー学術大会 (神奈川県横浜市 パシフィコ横浜) | | |
| 2月24日 | 平成27年度集合狂犬病予防注射関係資料売買契約会 (さいたま市 埼玉県農業共済会館) | | |

編集後記

賞は人と業績に対して与えるものでなく、人と業績から与えられるともいいます。つまりよき受賞者によって賞の方が肥らせてもらえるということがいえます。埼玉文化賞は、高橋会長の受賞を得て、大いにその価値を高めたといえましょう。会員一同その栄誉を継続できるように更なる精進を心がけたいと決意を新たにいたしました。

『東風吹かば にはいおこせよ 梅の花 主なしとて 春を忘るな』(拾遺和歌集・菅原道真)梅の便りとともに今年もまた春がやってきました。国立天文台の暦によると、雪や氷が解ける頃とされる雨水は2月19日、冬ごもりしていた虫たちがはい出てくる頃の啓蟄は3月5日だそうです。万葉の時代は文化的に中国の影響下にあり、花といえば梅であり、独自の道を歩みだした平安以降は、桜になったとのこと。

いつの世も地上の出来事に目を転じると、憂慮されることと夢と希望に満ちた出来事があやなす縄のごとくに現われます。ロケットの打ち上げ成功のニュースも、彼の地では国家の命運をかけ国威発揚の手段となり国際的な非難的となっています。2月17日に打ち上げられた新天文衛星『ひとみ』は、X線で宇宙をのぞき宇宙の出来事の知識を集める国際的な事業の一翼を担います。ガリレオに始まる光学望遠鏡は、可視光による宇宙観測です。可視光は宇宙に飛び交う電磁波のごく一部であり、電波やX線・ガンマ線など目に見えない電磁波がたくさんあり、それらを観測することにより宇宙の知識が蓄積されることが期待されています。この事業は国威発揚が目的ではなく、宇宙の成立のメカニズムを解明することによる人類の智の開発や発展です。生命科学領域も肉眼や光学顕微鏡のレベルでの生命体の構造解明から、分子レベルで

の構造や生理機能解明へと発展し、生命現象がより詳細に明らかとなってきています。天文学、地球科学や生命科学の発展は、すべて人類の智の開発や展開へ連なり、人類の究極の目的である平和と安定へと結実するものと期待されます。

一方、我々の実践している獣医療は、一つ一つの動物の命との対決です。受診した動物のそれぞれの症状の分析から病状を認識、診断し治療を行います。個としての生老病死との邂逅といえましょう。個にとって一度しかない死の邂逅から生きることのエキストでもいえる普遍性を絞り出す作業こそ獣医療人の使命ともいえるでしょう。使命を果たしたとき、宇宙の真理とも共有することのできる喜びを分かち合えるのではないのでしょうか。会員の先生方には刻苦勉励の先にある真理に到達されることを期待いたします。

ロケット発射成功を人類共有の喜びとせず、国威発揚に利用する彼の地では、異常なほど興奮する祝賀行事が放映されていました。一方、天文衛星『ひとみ』打ち上げ成功に対し、ノーベル賞学者の梶田先生は、『宇宙創成の機序を解明する一步となることを期待している』と静かにコメントされていました。梶田先生の母校の校歌の一節に『華美に走らず 実につき 智を耕して 徳を敷く 我が校風は 三芳野の 社頭の梅と 薫るなり』とあったことが過りました。三芳野の社頭の梅とは、菅原公を祀った天神様の境内の梅を指しています。質実剛健にして智を愛し、人として端正な品格を備えることにより、その人からは梅の香が漂うだろうということでしょう。

梅の香とともに2月号をお届けいたします。
(初雁)

あのおいしすぎるノミ・マダニ駆除薬に
フィラリア症予防もできるオールインワン新登場。

NexGard SPECTRA[®]

ネクスガード スペクトラ[®]



® ネクスガード スペクトラはメリアルの所有登録商標



かわいすぎる相棒に、
おいしすぎる愛情を。



日本全薬工業株式会社
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1



メリアル・ジャパン株式会社
東京都新宿区西新宿 3-20-2



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

また来ました♪
今月も診断
お願いします



ご近所に愛される“かかりつけ” 動物病院の鉄則。

愛され動物病院4つの鉄則チェック! 貴院は対策お済みですか?



スマホで見つけやすい!

パソコンやスマホ検索で、見つけやすく表示しています。



ご近所の集客術がある!

ご近所様をHPに誘導する有効的な方法を行っています。



満足度・信頼度が高い!

定期診断を増やすWEBアンケートを行っています。



広告規定を知っている!

国が定める規定内で有効な広告施策を実施しています。

ワクチン接種など初めての通院が、定期診断につながる大きな要因だと言われています。
そのため、この4つの対策が重要であることは言うまでもありません。

4つの
チェック項目
未対策
解決

**創業105年のアサヒコミュニケーションズが
最適なWEB集客支援サービスでお応えします。**

《埼玉県獣医師会の会員様限定》 問合せが増える! 来訪者が増える! 「10倍集客! WEB事例資料」を進呈

ASAHi COMMUNICATIONS

アサコミ



株式会社アサヒコミュニケーションズ
〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町4-3-23

反響のでるWEBマーケティングお気軽にご相談ください。

048-541-5152